

科目コード	E220
授業科目名	作業管理学
授業科目名(英文)	Work Management and Ergonomics
講義室等	6106
学科	産業衛生科学科
対象学年	2年
開講学期	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	2
時間数	30
該当ディプロマ	◎産DP-2・作業管理学
該当コンピテンス	◎産CP-3、○産CP-8、△産CP-2
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	庄司 卓郎
授業の概要	産業保健における作業管理の意義を理解し、実際の現場での事例を中心に、作業負担や作業員への影響に関する知識を得る。また、作業負担低減と作業環境の最適化のためにどのような対策を行えばよいのか理解する。
授業の到達目標 (学修効果)	安全衛生管理スタッフとして、作業現場における安全衛生上の問題点を発見し、問題の程度の測定と評価を行い、適切な改善対策を計画・立案できるようになる。
予習復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×1コマ×15回)+予習・復習60時間
成績評価方法	講義後の小レポート提出(20%)、期末試験(80%)で評価する。60点以上を合格とする。
教科書	資料を授業において配付
参考書	日本産業衛生学会・産業疲労研究会編集委員会編「産業疲労ハンドブック」1988年(労働調査会)(既蔵書) 小池照著「あなたの職場の安全点検」1984年(中央労働災害防止協会)(既蔵書) 中央労働災害防止協会編「あなたの職場の衛生点検」1992年(中央労働災害防止協会)(既蔵書) 国際労働機関・スウェーデン合同産業安全審議会編「安全、衛生、作業条件トレーニングマニュアル」1990年(労働科学研究所)(既蔵書) 労働省安全衛生部労働衛生課・環境改善室編「快適職場づくりーここがポイント」1996年(中央労働災害防止協会)(既蔵書)
その他	

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R8.4.7	火	Ⅲ	作業管理の意義	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 作業管理の目指すことを理解する				
				復習 企業で作業管理をどのように活かすか				
2	R8.4.14	火	Ⅲ	身体作業負担の軽減	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 身体作業とはどのようなものがあるか				
				復習 身体作業負担の計測方法、軽減方法				
3	R8.4.21	火	Ⅲ	高齢労働者の作業管理	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 高齢労働者の雇用で考えなければならないことは				
				復習 高齢労働者の安全衛生対策に必要な視点				
4	R8.5.12	火	Ⅲ	女性労働者の作業管理	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 女性労働者の多い職場で考慮すべき事				
				復習 女性の多い職場で作業管理をするときに必要な視点				
5	R8.5.19	火	Ⅲ	暑熱環境と作業管理	講義・グループワーク・演習	小嶋 純	2	
				予習 熱中症の対策はどのように進めるべきか				
				復習 暑熱環境の計測法、そこで働く人の負担の計測法				
6	R8.5.26	火	Ⅲ	騒音対策	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 騒音職場にはどのようなものがあるか				
				復習 騒音を防ぐために行う対策				
7	R8.6.2	火	Ⅲ	過重労働とその対策	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 過重労働が働く人に及ぼす影響				
				復習 過重労働防止の具体策				
8	R8.6.9	火	Ⅲ	労働時間管理	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 日本の労働時間はなぜ長いのか				
				復習 労働時間を減らすために効果的な対策				
9	R8.6.16	火	Ⅲ	働き方改革の推進	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 働き方改革とは何か				
				復習 働き方改革を推進するために何をすべきか				
10	R8.6.23	火	Ⅲ	ストレスとメンタルヘルスⅠ	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 ストレスとは何か				
				復習 ストレスが働く人に及ぼす影響				
11	R8.6.30	火	Ⅲ	ストレスとメンタルヘルスⅡ	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 ストレスの測定方法				
				復習 ストレス対策				
12	R8.6.30	火	Ⅳ	ワークライフバランス	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 ワークライフバランスとは何か				
				復習 ワークライフバランスを重視することの意義				
13	R8.7.7	火	Ⅲ	労働負担の調査	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 労働負担とは				
				復習 働く人の負担をどのように計測するか				
14	R8.7.7	火	Ⅳ	産業医との協働	討論	川波 祥子	1	
				予習 産業医の役割を考える				
				復習 産業医と協働するために必要なことを考える				
15	R8.7.14	火	Ⅲ	作業管理へのPositive Approach	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎		
				予習 労働はいかにあるべきなのか				
				復習 ポジティブアプローチの具体例				